

令和5年度学校評価アンケートの結果と改善策

山形県立楯岡特別支援学校大江校

1 令和5年度学校評価保護者アンケートの実施について

(1) 保護者アンケート「学校生活アンケート」

- ① 実施期間 令和5年11月24日（金）～12月1日（金）
- ② アンケートの集計方法について
保護者の皆様に記入していただいたアンケート用紙を教頭が直接開封し、集計を行った。
- ③ アンケート項目について
経年における変動が読み取れるように、これまで同様の内容（10項目）とした。

(2) 教員アンケート

- ① 実施期間 保護者アンケートと同様
- ② アンケートの集計方法 Google Forms のアンケート機能を活用して行った。

2 学校評価アンケートの結果と考察 ※集計結果参照

(1) 学校関係者評価（保護者アンケート）

（4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない）の4段階で評価

- ① 回収率、回答率ともに100%であった。
- ② 全体の平均値は3.68であり前年度の3.65をわずかが上回った。
- ③ 6項目（項目1、3、7、9、10）で前年度を上回り、項目6については前年度と同じであった。
項目2、4、5、8については前年度を下回ったが、前年度に比べほとんど変わらない数値であること、また、すべての項目が3.5ポイント以上であることから、良い評価をいただいていると捉えている。

<昨年度より評価の数値が上がった項目>

番号	設問内容	評価
1	お子さんは学校に行くことを楽しく思っている。	3.66
3	学校や学級担任はお子さんの教育について、よく話を聞いてくれる。	3.81
7	清掃や施設整備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。	3.75
9	お子さんにとって意義のある交流学習、学校行事、校外学習等の企画運営がなされている。	3.81
10	本校の教育活動や児童生徒の活躍などについて、地域に情報発信されている。	3.53

<昨年度より評価の数値が下回った項目>

番号	設問内容	評価
2	学校や学級はお子さんの教育についてよく話を聞いてくれる。	3.72
4	学習の足跡の掲示や参観の機会などが確保され、生徒の学習の様子が見える。	3.72
5	お子さんにとって、適切な学習目標が設定され、学習内容が「わかる」授業になるよう工夫されている。	3.53
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導がなされている。	3.63

- ④ 保護者アンケートでは、保護者の方との連携に関わる項目2、3、4について比較的高い評価を得ている。これは、学校が保護者の方にご協力をいただきながら、普段から生徒についての情報の共有に努めていること、また、コロナが5類に移行したことにより、学習の様子を見ていただく機会が増えたことなどが理由として考えられる。一方、項目5、10については、やや低い評価となっており、改善が必要である。

(2) 学校自己評価（教員アンケート）

①全体の平均値は3.33 で前年度の3.13 から0.2 ポイント上回った。

②個人、全体ともに昨年度より上回った項目は15項目中14項目で、どちらかが上回ったものは1項目（項目③）であった。

③比較的数値が高かったものは以下の4項目

番号	設問内容	評価（全体）
2	生徒の教育について、保護者の声に耳を傾け、生徒の学習や生活上の課題を共有している。	3.61
6	児童生徒や保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や情報の提供に努めている。	3.50
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境にしている。	3.50
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導を行っている。	3.56

④項目⑭（職員の連携、協同性）と項目⑮（行事の精選、多忙感の解消）については、例年数値が2ポイント台と低い傾向にあるが、今年度は項目⑭が3.39（前年度2.89）、項目⑮が3.11（前年度2.50）と昨年度に比べ数値が改善した。このことから、職員がチームとして協力しながら業務を行っているといえることができる。一方で、更なる業務の精選を求める声や、職員数減等の理由により、多忙感や負担感の解消には至っていないとの意見も上がっている。

3 改善策

(1) 学校関係者評価（保護者アンケート）

①項目⑤（「分かる」授業の工夫）について

より個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を行い、そのことが保護者の方により実感できるものとなるようようにする。そのために、授業を担当する教員一人一人が個々の生徒の目標や課題を日頃から打ち合わせ等でこれまで以上に共有し、日々の授業実践を第一に考え取り組んでいく。また、個別面談や日常のやり取りを通して、学校生活や学習の様子を丁寧にお知らせし、保護者の方の思いを大切にしながら連携をより密にしていく。

②項目⑩（地域への情報発信について）

情報の発信については、これまでも交流活動や作業製品の展示会、校外販売会（中学部：ヤマザワ寒河江西店、高等部：イオンモール天童）を通じて行ってきた。保護者の方々からも、学校の情報発信に関わって様々な機会でご協力をいただいている。また、今年度は、大江ロータリークラブ提供のスクールコンサートや寒河江市道の駅での作業製品展示会、イオンモール天童における校外販売会についてメディアにも取り上げていただくなど、情報発信を意識して取り組みを行っている。ただ、地域の方からは「学校がどこにあるのか」や「どんな学校なのか」などについて分からないというご意見をいただくことがまだある。学区は西村山5市町と広いことなどから難しい部分もあるが、地域の方々との交流や行事等への参加、作業製品展示会や販売会における地域の広報誌のより積極的な活用などを通して、今後も情報発信に努める。

(2) 学校自己評価（教員アンケート）

・項目⑭（職員の連携、協同性）と項目⑮（行事の精選、多忙感の解消）について

前述のとおり、この項目における評価の数値はこれまでと比べ改善していることから、職場として協力的に業務にあたっているものの、中学部と高等部がある規模の分校として、生徒数、職員数と業務量のバランスなどにより、職員全員が多忙感や負担感を感じているものと思われる。さらなる業務の精選とともに、効率化・平準化を進めていくことが必要である。

4 まとめ 『めざす学校像』の実現に向けて

(1) 「生徒にとって 毎日来るのが楽しい学校」にするために

子どもたちは、毎日明るく元気に学校生活を送っている。何よりも、生徒が安心・安全に楽しく過ごせることを第一に考え、これからも生徒個々の気持ちに寄り添って支援していく。そのために、普段から子どもたちの様子について、積極的に教職員間の情報共有・共通理解を図り、生徒指導等で対応が必要な事案が発生した場合は、組織として迅速に対応する。また、保護者の協力を得ながら、生徒の実態把握に努め、より一人一人の教育的ニーズに応じた「分かる」授業、子どもたちの自己肯定感、自己有用感につながる学習活動になるよう工夫・改善を行っていく。（関連項目 [1](#)、[5](#)、[9](#)）

(2) 「保護者にとって 安心して任せられる学校」にするために

今年度も、保護者の方と連絡帳やお便り、校内の掲示等を通して、生徒の学習活動の様子を丁寧にお伝えしてきた。今年度から他学部で学部だよりも配付することで、他学部のことがあまりわからないという声は減っていると感じる。また、保護者の方の関心の高い進路に関する研修等について、保護者のニーズに合った多くの声が反映されたものになるよう実施した。今後もより良い形で実施できるよう、連携しながら計画していく。（関連項目 [2](#)、[3](#)、[4](#)、[6](#)、[7](#)、[8](#)）

(3) 「地域にとって 信頼して相談できる学校」にするために

地域の小中学校、高等学校、また各関係機関から相談や依頼等が寄せられた場合、できるだけ早く日程等を調整し、早急に個々のケースに丁寧に対応することを心掛けた。学校見学には随時対応しており、来校いただいた方には何かあればいつでも連絡をいただくようお願いしている。今後も、各学校や関係機関と連携を積極的に図っていく。併せて専門性の向上のため、より多くの教員が相談等に関われるような校内体制を作っていく。また、学区である西村山5市町の皆様に、より学校のことを知っていただけるよう引き続き情報を発信していく。（関連項目 [10](#) 教職員アンケート [12](#)）

(4) 「教職員にとって 働きやすく働きがいのある学校」にするために

職場全体としては協働性があり概ね働きやすい環境であると思われる。より心理的安全性の高い職場を目指し、同僚性を基盤として、互いが互いを認め合いながら、子どもたちのために意見を積極的に出し合う集団となるよう、共通理解を図りながら進めていく。また、引き続き子どもたちのために出来ることをチームとして考える時間を大切にし、そのために精選、効率化できるものは行い、より働きがいのある職場を目指していく。（関連項目 教職員アンケート [14](#)、[15](#)）

令和5年度 学校関係者評価(保護者アンケート集計結果)

山形県立楯岡特別支援学校大江校

番号	設 問	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	%				R5年度 平均	R4年度 平均
			4段階	3段階	2段階	1段階		
1	お子さんは、学校に行くことを楽しく思っている。		66%	34%	0%	0%	3.66	3.65
2	学校や学級担任はお子さんの教育について、よく話を聞いてくれる。		72%	28%	0%	0%	3.72	3.73
3	学校や学級担任は、お子さんの学校での様子をよく伝えてくれる。		81%	19%	0%	0%	3.81	3.78
4	学習の足跡の掲示や参観の機会などが確保され、児童生徒の学習の様子が見える。		72%	28%	0%	0%	3.72	3.73
5	お子さんにとって、適切な学習目標が設定され、学習内容が「分かる」授業になるように工夫されている。		56%	41%	3%	0%	3.53	3.57
6	学校は、お子さんや保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。		66%	28%	6%	0%	3.59	3.59
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。		75%	25%	0%	0%	3.75	3.59
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導がなされている。		66%	31%	3%	0%	3.63	3.65
9	お子さんにとって意義のある交流学习、学校行事、校外学習等の企画・運営がなされている。		81%	19%	0%	0%	3.81	3.70
10	本校の教育活動や児童生徒の活躍などについて、地域に情報発信されている。		56%	41%	3%	0%	3.53	3.46
		■ 4 よく当てはまる ■ 3 やや当てはまる					3.68	3.65

※1 アンケートの実施期間は、令和5年11月24日(金)から12月1日(金)まででした。

※2 10の質問項目に対し、4段階で評価していただきました。

(4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない)

※3 アンケートの回収件数は、32件(32家庭中)でした。

令和5年度 学校自己評価(教職員アンケート集計結果)

山形県立楯岡特別支援学校大江校

番号	内容		0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	4%	3%	2%	1%	R5 (平均)	R4 (平均)
1	児童生徒が来なくなる、楽しい学校づくりをしている。※生徒指導・いじめ防止・ケース会も含む。	個人												33.3	66.7	0.0	0.0	3.33	3.16
		全体												33.3	66.7	0.0	0.0	3.33	3.21
2	児童生徒の教育について、保護者の声に耳を傾け、児童生徒の学習や生活上の課題を共有している。	個人												61.1	38.9	0.0	0.0	3.61	3.37
		全体												61.1	38.9	0.0	0.0	3.61	3.37
3	保護者に、共有した学習課題を中心に、児童生徒の学校での様子や成長した姿についてよく伝えている。	個人												33.3	66.7	0.0	0.0	3.33	3.42
		全体												50.0	50.0	0.0	0.0	3.50	3.37
4	学習の足跡の掲示や参観の機会等が確保され、児童生徒の学習の様子が見えるようにしている。	個人												38.9	61.1	0.0	0.0	3.39	3.32
		全体												61.1	38.9	0.0	0.0	3.61	3.47
5	個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成・評価により、個に応じた「分かる」授業を実践している。	個人												22.2	72.2	5.6	0.0	3.17	2.95
		全体												27.8	66.7	5.6	0.0	3.22	2.84
6	児童生徒や保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。	個人												33.3	66.7	0.0	0.0	3.33	3.26
		全体												50.0	50.0	0.0	0.0	3.50	3.42
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境にしている。	個人												33.3	66.7	0.0	0.0	3.33	3.21
		全体												50.0	50.0	0.0	0.0	3.50	3.21
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導を行っている。	個人												44.4	55.6	0.0	0.0	3.44	3.32
		全体												61.1	33.3	5.6	0.0	3.56	3.16
9	交流及び共同学習、校外学習、学校行事等が、児童生徒にとって意義のある企画・運営になっている。	個人												33.3	66.7	0.0	0.0	3.33	3.26
		全体												38.9	61.1	0.0	0.0	3.39	3.32
10	学校や本校児童生徒の理解のための地域社会への情報発信がなされている。	個人												11.1	83.3	5.6	0.0	3.06	3.05
		全体												38.9	61.1	0.0	0.0	3.39	3.11
11	校内研究による授業改善や自主研修、OJTに課題意識をもって取り組み、専門性向上を図っている。	個人												11.1	88.9	0.0	0.0	3.11	3.11
		全体												27.8	72.2	0.0	0.0	3.28	3.00
12	授業研究会における助言や教育相談、学校参観等により、地域のセンター的機能を果たしている。	個人												22.2	61.1	16.7	0.0	3.06	3.00
		全体												38.9	61.1	0.0	0.0	3.39	3.26
13	小(上・下学年)・中・高の協力や情報共有のもと、児童生徒理解や教育課程で一貫性のある指導ができている。	個人												16.7	83.3	0.0	0.0	3.17	2.79
		全体												27.8	72.2	0.0	0.0	3.28	2.95
14	職員のチームワークのもと、連携し支え合い、協働性を発揮して学校運営がなされている。	個人												33.3	55.6	11.1	0.0	3.22	3.00
		全体												44.4	50.0	5.6	0.0	3.39	2.89
15	行事の精選や会議の運営等、多忙感や負担感の解消に向けた取り組み等の働き方改革を推進している。	個人												16.7	66.7	16.7	0.0	3.00	2.63
		全体												27.8	55.6	16.7	0.0	3.11	2.50
■ 4:よく当てはまる ■ 3:やや当てはまる ■ 2:あまり当てはまらない ■ 1:当てはまらない													平均		3.33	3.13			